

授業科目(ナンバリング)	測定評価(CC211)			担当教員	宮本 彩		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
測定評価では、身体の形態（長育、量育、周育）や機能（体力・運動能力）を数量化・定量化する方法を学習することが主題である。また、その結果を評価・判断するためには、統計の知識も必要となる。各種測定・評価方法の目的、特徴、長短所などを学び、学校体育あるいは一般社会・企業等でどのように活用することができるのかについても学習する。							④ ⑤ ⑥ ⑩ ⑪
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> ヒトの形態と機能を正しく計測・測定することができる。 測定で得られたデータの処理と基本的な統計を理解し、活用することができる。 各種測定・評価方法の目的、特徴、長短所、方法などの基礎知識を説明することができる。 				測定実施能力 講義ノート レポート課題	10% 30% 30%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた測定方法を選択し、正しく評価することができる。 				講義ノート レポート課題	10% 20%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>測定実施能力（評価比率10%）は、授業内の実習での実施状況を総合的に評価する。</p> <p>講義ノート（評価比率40%）は、授業で取り上げた基礎知識に関する内容や測定データがまとめられているかを評価する。講義ノートの提出は、テーマごとに実施し（概ね5回）、採点（5段階評価）したものを返却する。</p> <p>レポート課題（評価比率50%）は、作成方法に基づき、基礎知識と測定データを踏まえて論理的に作成できているかを評価する。レポート提出は概ね4回を予定している。レポート回収はポートフォリオにて実施し、採点（5段階評価）とともに内容について添削したものを返却する。</p>							
授業の概要							
<p>本授業は、ヒトの形態（長育、量育、周育）や機能（体力・運動能力）の測定方法について実践を通じて学ぶ。学生自身が被験者と実験者の両方の立場として各種測定を行い、得られたデータを基本的な統計手法により評価する方法を学ぶ。また、基礎知識を踏まえて得られたデータについて自分なりに考察することを学ぶ。</p> <p>本授業では、受講生をグループに分け（1グループ概ね5～8人）、テーマに対するディスカッションを行うとともに、各種測定およびレポート課題の作成の際にグループで協力して取り組みを進めるものとする。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特になし</p> <p>参考書：「健康・スポーツ科学のためのやさしい統計学」 出村 慎一・山次 俊介（杏林書院）</p> <p>指定図書：「測定と評価 現場に活かすコンディショニングの科学」 山本 利春（Book House HD）</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> 講義科目ではあるが、測定の実践や演習を伴うため、出席が重要である。 測定日は、スポーツウェア、スポーツシューズ（室内用）を準備する。 講義ノートを作成するため、必ずノートを持参する。 							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	講義のねらいと進め方 講義ノートの書き方	予習：シラバスを読んで授業の流れを把握する。(30分) 復習：これまで学校教育の中で自身が経験したことのある形態計測・体力測定について振り返り、講義ノートにまとめる。(150分)
2	新体力テストとその活用	講義 ：新体力テストの内容、子どもの体力について	予習：新体力テストについて調べる。(60分) 復習：子どもの体力に関する問題を調べ、講義ノートにまとめる。(120分)
3	形態計測	実習 ：身長、体重、体脂肪率、身体各部の周径囲の計測	予習：身体の形態計測の方法について調べる。(60分) 復習：各測定のための目的、特徴、方法などを講義ノートにまとめる。(120分)
4	身体組成の評価について	講義 ：形態計測の方法論や体脂肪率の計測方法と各評価における長所・短所 レポート課題の提出	復習：講義内容を講義ノートにまとめる。 レポート課題を行う。(180分)
5	筋力の測定①	講義 ：筋力の測定と評価法について	予習：筋力の測定方法について調べる。(60分) 復習：各筋力測定の目的、特徴、方法などを講義ノートにまとめる。(120分)
6	筋力の測定②	実習 ：筋力測定の実施	復習：筋力測定で得たデータを講義ノートにまとめる。(180分)
7	基本統計量	演習 ：測定・評価する際に考慮すべき条件、基本統計量（平均値、標準偏差など）について	予習：基本統計量について調べる。(60分) 復習：形態計測、筋力測定で得たデータの基本統計量を求める。(120分)
8	レポートの書き方	演習 ：基本の論文の形式（緒言、方法、結果、考察）について レポート課題の提出	復習：形態計測、筋力測定で得たデータを基にレポート課題を行う。(180分)
9	呼吸循環器の測定①	実習 心拍数および血圧(安静時、運動時、運動直後)の測定	予習：呼吸循環器について調べる。(60分) 復習：測定のための目的、特徴、方法、結果を講義ノートにまとめる。(120分)
10	呼吸循環器の測定②	講義 運動に伴う心拍応答について 最大酸素摂取量ならびに無酸素性作業閾値について	予習：最大酸素摂取量について調べる。(60分) 復習：講義内容を講義ノートにまとめる。(120分)
11	経時的データの分析	講義 ：経時的データの取りまとめ及び分析について レポート課題の提出	予習：呼吸循環器の測定で得たデータを整理する。(60分) 復習：呼吸循環器の測定で得たデータを基にレポートを作成する。(180分)
12	柔軟性の測定・評価	講義・実習 柔軟性の測定・評価の方法について	予習：柔軟性の評価方法について調べる。(45分) 復習：柔軟性に影響を及ぼす要因について調べる。(45分)
13	基本的な統計分析②	演習 ：基本的な統計分析（相関関係、差の検定など）	予習：これまでの測定で得たデータを整理する。(60分) 復習：これまでの測定で得たデータを基に統計分析を行う。(120分)
14	レポート作成 1	演習 レポート課題の作成 ：参考文献の検索および引用	復習：レポート課題を作成する。(180分)
15	レポート作成 2	演習 レポート課題の作成 レポート課題の提出	復習：レポート課題を作成する。(180分)